

ブルーベリーの育て方

ブルーベリーは、ツツジ科スキノ属の半落葉低木で、暖地向きのラビットアイ系と、寒冷地向きのハイブッシュ系があります。

[植え方]

植え付け最適期は5～7月上旬ですが、厳寒期でなければ問題はないです。日当たりの良い場所を好みますが、4～5時間の日照程度でも育ちます。

酸性土壌をととても好むので、土作りが一番重要になります。植え穴は、株の大きさにもよりますが、直径が根の大きさの約2倍、深さは根の長さより10～20cmほど深く掘ります。掘った穴の容量の約7割のピートモス、2割の庭土および1割の鹿沼土をよく混ぜ（パーライトを微量混ぜるのも効果的）、植穴に入れ踏み固めて平らにします。そして苗の根の大きさと同等の穴を掘って植え込み、最後にゆっくり、たっぷり水を与えて終了です。（乾燥しきったピートモスは、水をはじくので湿らせてから使用します。）

鉢植えの場合は、市販のブルーベリー用の培養土などを使うのがおすすめです。

[基本管理]

病害虫の心配はほとんどありません。若木や植えて間もない苗は、過度な追肥や水のやりすぎなどで根を傷めて樹勢を落とさないように気をつけます。収穫期に鳥やスズメバチなどによる果実の被害報告を時々耳にします。被害がひどい場合には、ネットを張るなどして対策する必要があります。

追肥はブルーベリーに適した肥料を、成木であれば4月下旬頃と8月中旬頃に適量施します。若木の場合は、4月下旬に微量与える程度にとどめ、実の数を調整して木の生長を助けるようにします。（品種間で差がありますが、小さい若木の頃から実を鈴なりに成らしてしまうと、木の育ちが極端に悪くなりますので注意してください。）

2～3年に一度、秋口に根元にピートモスをすき込むのも効果的です。

寒冷地では庭植えの場合、基本的に定期的な水やりの必要はありません。ただし、夏場の高温期、実の色が青くなり膨らんできたところに雨がまったく降らない天気が続いたら、たっぷり水をあげてください。

降雪地では冬囲いも重要な作業です。ブルーベリーの花芽のついている枝は折れやすいので、しっかりした支柱を組み立てて縛り、ムシロやネットなどで囲って雪害に備えましょう。

剪定は4月下旬以降、枯れ枝や込み合った枝を切る程度です。ハイブッシュ系の品種は高温期でも徒長する枝はあまり発生しませんので、樹形を乱す枝が伸びたら切り戻す程度で十分です。